

7月12日（金） 小中合同学校保健安全委員会

小学校6年生と中学校3年生が一堂に会し、学校歯科医の和田先生、学校運営協議会委員、PTA役員、保護者の方々にもご参加いただき、小中合同学校保健安全委員会を開催しました。

今回の委員会では、「メディア機器を使用することで気になっていることは何か」という問いかけに対して、児童生徒の意見を集約すると、

- ①「使用時間の長さ」
- ②「身体への悪影響（視力低下・睡眠時間の減少）」
- ③「心への影響（言葉づかいが悪い、家族とのけんかの増加）」

の3つの課題が見えてきました。

そこで、メディア利用に対して、自分の「めざす姿」を実現するための具体的な決意を決め直すことを目的として、課題だと思うグループに分かれて話し合いを行いました。

自分の課題に気付いていても行動になかなか移せない難しさを感じている児童がいます。今日の話合いを通して決め直した決意を実行にうつせるよう「やりぬく」心と、駄目なときは「決め直す」心を発揮してほしいと思います。



また、PTAのグループも保護者としてできる取組について話し合い、委員会の中で発表してくださいました。

その内容は・・・

- ・ルールを決めた場合は、親も同様に守る。
- ・ルールは子どもといっしょに守ることが大事。
- ・メディアを使える範囲は、親から見えるところにする。
- ・やるべきことをしてから、メディアを利用するように促す。



というものでした。
わたしたち大人も、子どもたちの健全な成長に向けて今一度立ち止まり、決め直すことがあるのかもしれませんが。